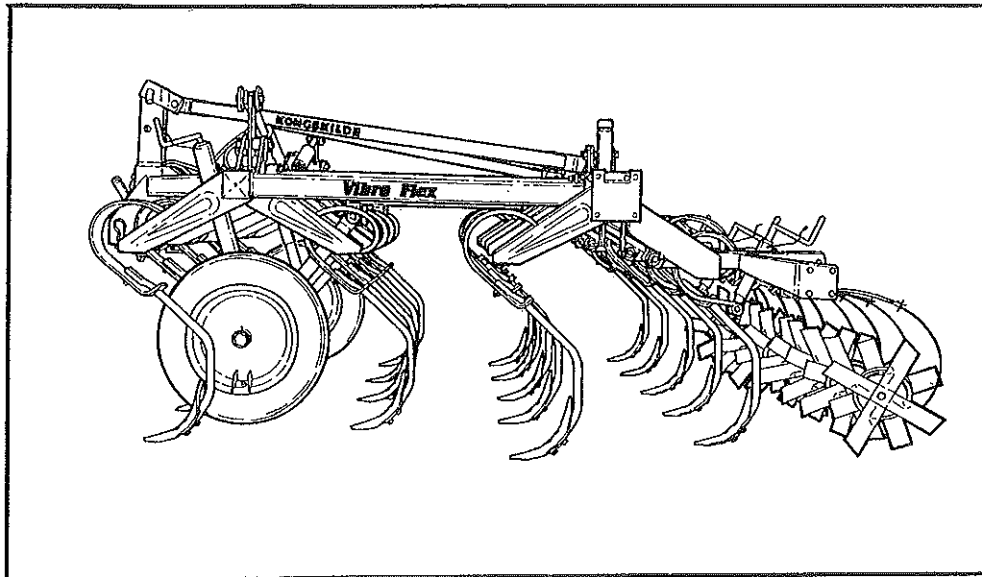


KONGSKILDE

バイブロフレックス

取扱説明書

VFM 2007 / 2009 / 2011
4315 / 4317 / 4319



安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前にかならずお読みください。

いつまでも大切に保存してください。

はじめに


このたびはビコン製品をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、注意事項について説明しています。

ご使用前に必ずよくお読みいただき十分理解され、お買い上げの製品を正しくお取扱いいただき、安全な作業をするためにご活用ください。

お読みになった後必ず大切に保存し、ご使用中にわからないことがあった時には取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全 第一

この取扱説明書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。ご使用前によく読んで必ず守ってください。

注意表示について

この取扱説明書では、とくに重要と考えられる取扱い上の注意事項についてつぎのように表示しています。



注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示します。

重 要

注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれがあるものを示します。

同封の「安全説明確認カード」と「保証書」には、必要事項が必ず記入されていることを確認してください。

安全に作業するために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で安全な作業を行ってください。安全に作業をするため守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「警告サイン」として説明のつど取り上げております。

1. 一般注意事項



取扱説明書を読む

共同作業や他人に機械を貸す場合は、使用者全員が取扱説明書をよく読んでから使用するよう指導してください。
死亡や重大な傷害事故、機械の破損の原因となります。



作業に適した服装をする

袖口、裾口がきっちりとした作業着を着用してください。
回転部に巻き込まれたり、機械に引っ掛かったりするおそれがあります。
死亡や重大な傷害事故の原因となります。



点検・整備をする

機械の使用前後には必ず点検・整備をしてください。ボルト・ナットの緩み、機械の損傷などをチェックし、増し締めおよび修理をしてください。
傷害事故の原因や機械の破損の原因となります。



改造しない

この機械の改造をしないでください。
純正のアタッチメントやパーツ以外は取り付けしないでください。
傷害事故の原因や機械の破損の原因となります。



他の目的で使用しない

作業機はそれぞれの作業用途に合わせて製造されています。作業用途目的以外の作業では使用しないでください。
機械の破損の原因となります。



公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。
道路交通法違反です。

2. 始業時の注意事項



ナイフ取付けボルト・ナットの点検

ボルト・ナットの緩みがないか点検し、所定のトルクで締めてください。作業中にナイフが外れて、死亡や重大な傷害事故や周囲の器物破損の原因となります。



停止、安定した状態で点検・整備する

機械が安定停止した状態で置かれていることを確認した後、点検整・備を行ってください。不安定な状態や停止していないときは機械が動いたりして、傷害事故の原因となります。



安全カバーの点検

安全カバー、PTOシャフトのカバーなどすべてのカバー類の取付けを点検してください。カバーの外れ、破損、不完全な取付けは、死亡や重大な傷害事故の原因となります。



油圧回路の点検

油圧ホース・カップラー・シリンダーが汚れていたり、破損していないか点検してください。油圧ホースやシリンダーが破損していると傷害事故の原因となります。

3. トラクターへの着脱時の注意事項



作業機を装着するときはトラクターのエンジンを止める

トラクターのPTOを切りエンジンを止めた状態にして、作業機をトラクター3点リンクヒッチやドローバーに着脱してください。死亡や重大な傷害事故の原因となります。



PTOシャフトの着脱と機械の調整・点検時はエンジンを止める

トラクターのPTOを切り、エンジンを停止し、キーを外してから行ってください。トラクターやPTOが急に動きだし、回転部に巻き込まれたり、トラクターや機械との接触などにより死亡や重大な傷害事故の原因となります。



人（子供）を近づけない

作業機の着脱は一人で行い、さらに、人（特に子供）に注意し周囲に近づけないようにしてください。
接触やはさまれたりして**重大な傷害事故の原因**となります。



P T O回すときは周囲に人を近づけない

トラクターのP T Oを入れ、作業機の回転をスタートさせるときは、人を機械に近づけないでください。特に、子供には注意し、機械の後ろに人がいないことを確認してください。
石・れきなどが飛散し、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



トラクターと機械の間に立たない

トラクターを移動させて着脱するとき、トラクターと機械の間に立たないでください。
接触やはさまれて、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



機械の下に入らない

機械を上げたとき、機械の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。トラクターのエンジンを停止していても機械の自重やその他の原因で下降し、**傷害事故の原因**となります。



平坦な場所で着脱する

機械が安定した状態を保てる、平坦な場所で行ってください。不安定な状態では、機械が転倒して事故の原因になる他、トラクターが動き**重大な傷害事故の原因**となります。



回転半径内に入らない

トラクターの回転半径は、作業機を取付た場合、トラクターを含めた全体の回転半径は大きくなります。
接触して**傷害事故の原因**となります。

4. 作業時の注意事項



人を近づけない

刈取り作業の開始時および作業中は石・れきなどが飛散する範囲内に人を近づけないでください。**死亡・傷害事故の原因**となります。



作業機の調整はエンジンを止めてから

調整をするときはトラクターのPTOを切り、エンジンを止めてから行ってください。トラクターや作業機が急に動きだし、回転部に巻き込まれたり、接触などにより死亡事故や重大な傷害事故の原因となります。



回転部が停止するまで作業機に近づかない

回転の停止操作（PTOを切るなど）を行った後、すぐには止まらずしばらく回転（ナイフ回転など）しています。接触で傷害事故の原因となります。



PTOシャフトには近づかない

作業機が回転中は、PTOシャフトに近づかないでください。衣服、手、毛髪などが巻き込まれ死亡や重大な傷害事故の原因となります。



傾斜地での急旋回はしない

トラクターが転倒し、重大な傷害事故の原因となります。

5. 作業終了後・格納時の注意事項



平坦な場所に格納する

人が近づかないような場所で、かつ、平坦な場所で安定した状態で格納してください。不安定な場合、転倒して傷害事故を引き起こしたり機械の破損の原因となります。



作業機の上に乗らない

特に、子供が上に乗って遊ばないように注意してください。転倒して、傷害事故の原因となります。

仕 様

型式	VFM	2007	2009	2011	4315	4317	4319
作業幅	cm	190	245	300	340	385	430
移動幅	cm	190	245	300	300	300	300
全重	kg	380	440	500	790	925	990
タイン数		7	9	11	15	17	19
タイヤサイズ		6.00x12			165x15		
折たたみ方式		-	-	-	手動	油圧	油圧
所要馬力	HP	60~	70~	80~	115~	130~	145~

アフターサービスと保証について

保証について

1. この製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
3. 保証期間中の修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、または弊社にお問い合わせください。
4. 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
5. 本製品の使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

補修用部品

この製品の補修部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

トラクターへの装着



- トラクターへ作業機を脱着するときは、人とくに子供に注意し周囲に近付けないで下さい。また、トラクターと作業機の間には立たないで下さい。接触やはさまれたりして重大な障害事故をまねくおそれがあります。



- 脱着は平坦な場所で行って下さい。不安定な場所では、機械が転倒して事故の原因となります。



- トラクターから降りる場合、エンジンを停止して下さい。トラクターが急に動き出し重大な障害事故をまねくおそれがあります。



- 作業機を上げたとき、作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで下さい。トラクターを停止していても機械の自重やその他の原因で下降し、障害事故をまねくおそれがあります。
- トラクターの回転半径は作業機分だけ大きくなります。旋回時は周囲の人や物に注意して下さい。接触して障害事故を招く恐れがあります。

クイックフレームをトラクターロアリンクに装着します。
ブッシュ（図. 1-A）はかならずロアリンクの外側に装着して下さい。

また、ブッシュ装着後、標準装備のベーターピンでロックして下さい。

クイックフレームが本体のフックの真下部にくるまでトラクターをバックさせ、ゆっくりとロアリンクを上げ確実にロックされたかを確認して下さい。

トップリンクを装着します。

作業中、メインフレームが地面に対し平行となるように、トップリンクの長さを調整します。この時、前後のタイヤの作業深さが等しくなります。

重要：トップリンクは、作業中、作業機側が高くなるようピン位置を選んで下さい。とくに水平状態では、作業深さが一定にならず、またハンドル操作も困難な場合があります。（図. 2）

作業機をトラクターから外す場合は、ロアリンクのロック装置を付属のハンドルで解除した後、上記と反対の方法で行って下さい。

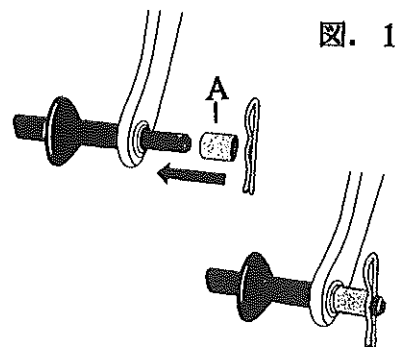


図. 1

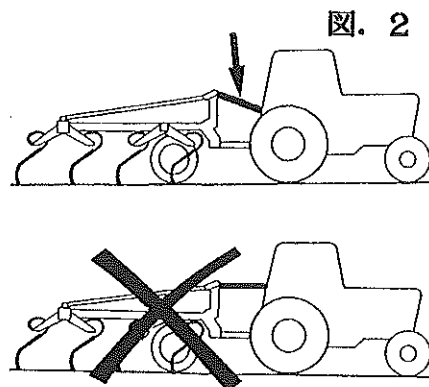


図. 2

VFM4000シリーズ サイドウィングの折りたたみ

4000シリーズは移動・格納のために左右延長フレーム部が油圧で折りたためる構造になっています。（4315は手動折りたたみ式）

重要：折りたたむ前にロックピンを外してから油圧を作動させて下さい。（図. 3）
作業するときは必ずロックピンを取り付けたのち行って下さい。

重要：始業前にはトラクター油圧で折りたたみを数回繰り返し、シリンダー内のエアールを取り除いて下さい。また、トラクター油圧が正しく作動するかを確認願います。これらに異常があった場合、移動中のショックで延長フレーム部が下がったり、フレームを降ろす際に突然急激なスピードで落ちるような場合があります。

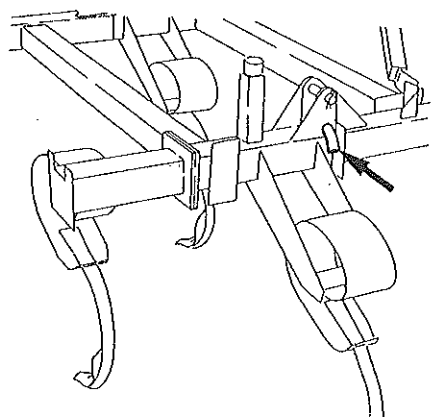


図. 3

作業

ゲージホイールの調整

目的の耕深を得るために正しいゲージホイールの調整を行って下さい。本機をトラクター3Pで持ち上げ、車輪の高さを調整して下さい。



調整を行う場合は、トラクターのエンジンを止め、フレームの下にスタンドなどで落下防止を施した上で実施願います。本機が下降し、障害事故をまねくおそれがあります。

- 2000シリーズは、ボルト（図. 4-A）を緩め、ピンで高さを調整します。調整後はボルトAをしっかりと締めておいて下さい。
- 4000シリーズは、ハンドルで調整します。（図. 5）

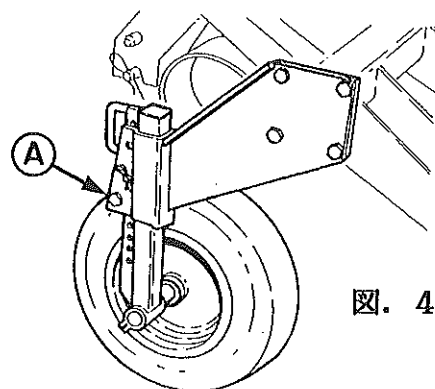


図. 4

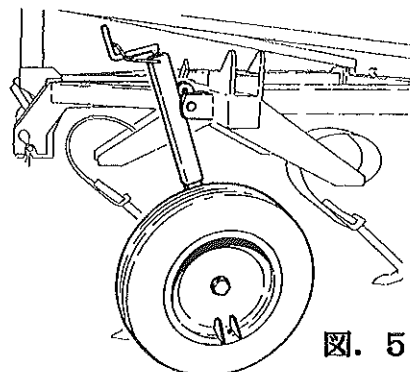


図. 5

作業速度

本機の最適な作業速度は8-12 km/hです。この時、タイヤが前後左右に激しく振動し、もっとも高い破砕効果が得られます。とくに6 km/h以下のスピードでは、タイヤが十分に振動せず、目的とする効果が得られません。

重要：本機の性能を十分に発揮するために、適性スピードで作業を行って下さい。

このため、所要馬力に余裕のあるトラクターを選定して下さい。

作業中の禁止行為

重要：次のような行為は絶対に行わないで下さい。本機が破損します。

- タイヤが土中に入ったままでの急旋回

- タイヤが土中に入ったままでのバック

タイヤはこうした横・後方向の力を想定して設計されていません。こうした行為を行うと、正しい耕深を得られないばかりか、タイヤ・メインフレームの破損につながります。

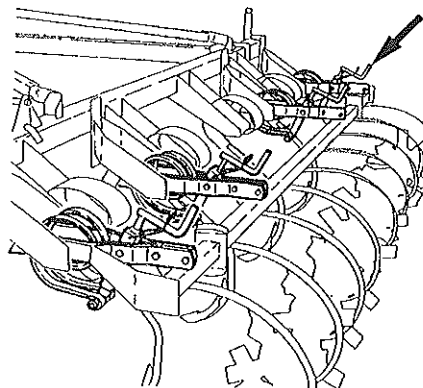
ローターフレックス（オプション）の調整

別売品のローターフレックスを使用の際、正しい深さ調整を行って下さい。深さはハンドル（図. 6）で行います。深く入れ過ぎますと、ローター部による土の移動が大きく圃場表面が均平になりません。また、ローターが本機を持ち上げる形となり正しい耕深が得られません。

作業速度は8-12 km/hで使用して下さい。

この時、ローターによる土塊の破砕と表土のミキシングが可能です。

図. 6



整備・点検

機械をいつまでも最適な状態で使うため、作業終了後は機械を洗浄し、さび止めのオイルなどを塗布して下さい。



•整備/点検をするときは、トラクターのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけ行って下さい。トラクターが急に動き出し重大な障害事故をまねくおそれがあります。



•作業機をトラクターに取り付けたまま整備点検をするときは、作業機が落ちて来ないようにスタンドなどで落下防止を施したうえで行って下さい。トラクターが停止していても機械の自重やその他の原因で下降し、障害事故をまねくおそれがあります。

ボルトナットのゆるみ点検

作業10時間毎に各部取付ボルトナットにゆるみがないか点検して下さい。
とくに使用開始日は作業終了後、必ず点検し、増し締めを行って下さい。

グリースの注油

作業25時間毎にゲージホイールのハブ部のニップルにグリースを注入して下さい。
*ローターフレックス（別売）のローターは注油の必要はありません。

タイヤ圧

ゲージホイールのタイヤの適正圧はそれぞれ下記の通りです。

タイヤサイズ	タイヤ圧
5.00 x 8	2.5 bar / 36 psi
6.00 x 12	2.1 30
8.00 x 24, 10 ply	4.5 65

ローターフレックス（オプション）のスクレーパーボルト点検

ローター内部へ土などが溜まるのを防ぐため、ローターのハブ部にスクレーパーボルトが取り付けられています。（図. 7）

このボルトが摩耗していないか確認願います。また必要があれば交換してください。

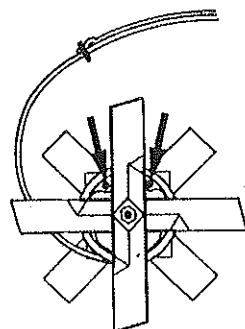


図. 7



本州（営）/福島県西白河郡泉崎村第一工業団地

TEL. 0248-53-4121 FAX. 0248-53-4123

札幌（営）/北海道千歳市上長都 1121-2

TEL. 0123-26-2241 FAX. 0123-26-2230

帯広（営）/北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18-19

TEL. 0155-62-6401 FAX. 0155-62-6403